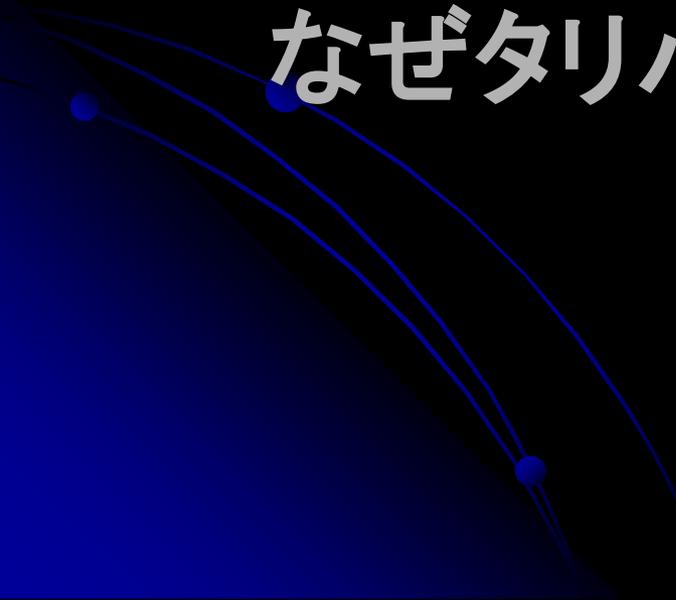


アフガニスタンの現状

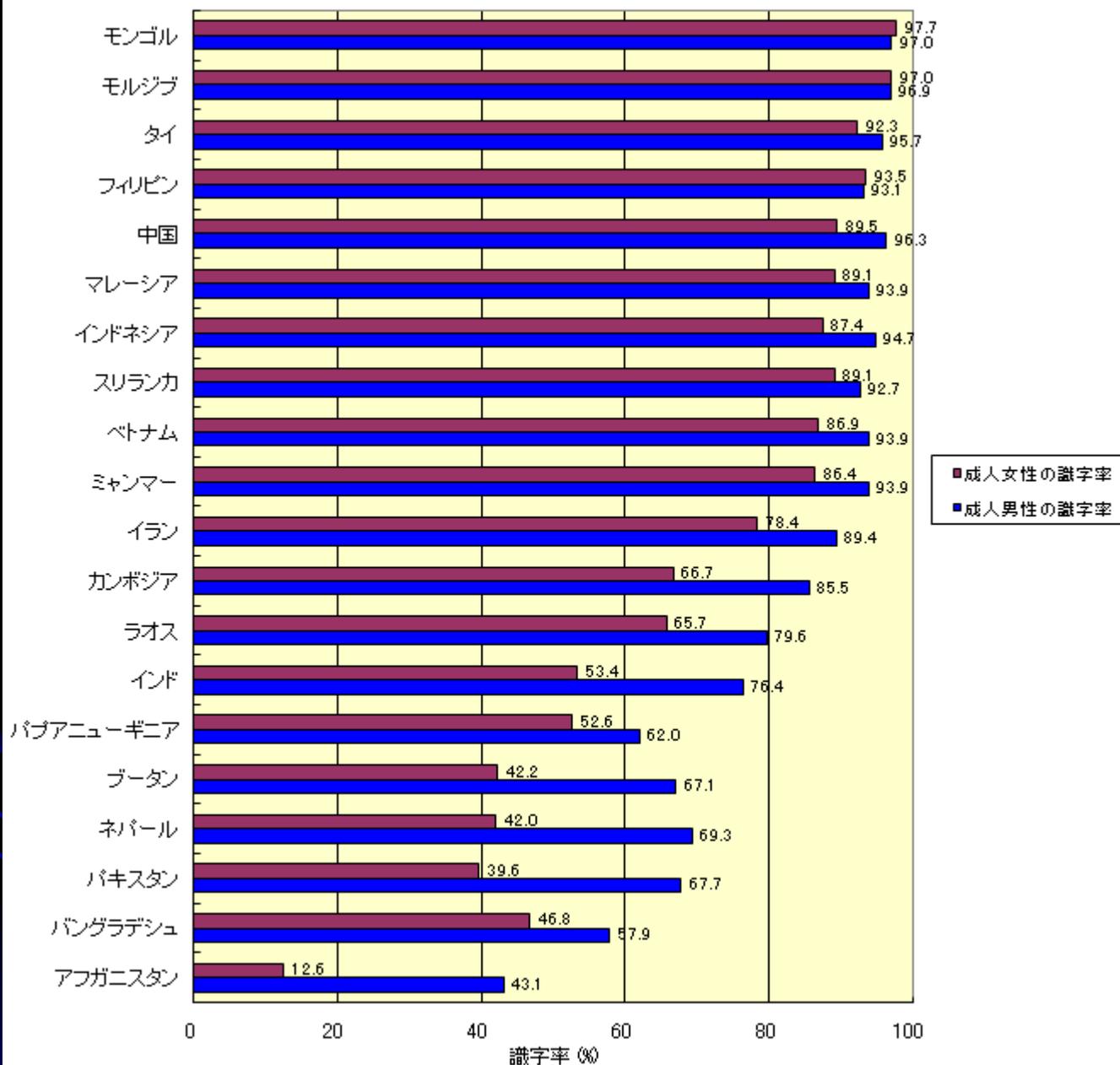
なぜタリバンは復権し得たのか



人々の生きる環境

- 平均寿命 男性 45歳 / 女性 44歳
 - 識字率 男性 43.1% / 女性 12.6%
 - 困難な女性の就学、就労
 - 出産時の母親死亡率 2%近く
 - 女性が住みにくい国 世界第2位(2011年)
- 

男女別成人識字率(十五歳以上)



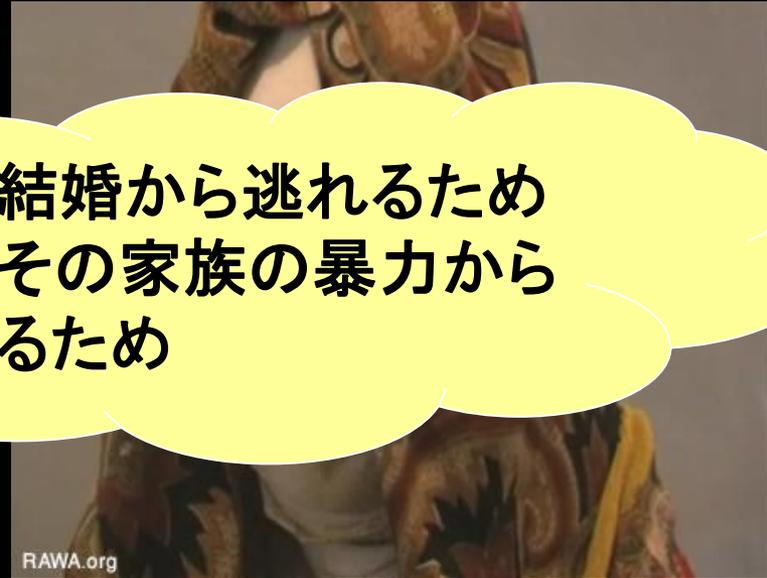
2008年9月ユネスコ統計研究所 推計値

その背景にある

- 長老がリードする部族社会
 - 男尊女卑
 - イスラム原理主義
 - 貧困
 - 教育の欠如
- 



強制結婚から逃れるため
夫やその家族の暴力から
逃れるため



2011年だけで約2300件の焼身自殺
(BBCペルシャ語放送による報告)



結婚後6ヶ月、13歳のナヒバは義母にガソリンをかけられ火をつけられた。実母のマリアムが泣いている。



レイプされた7歳の少女(ガズニ州)



レイプされた4歳のアイシャ
(バルフ州)



集団レイプされた12歳のアニサ(サーレポル州)

タリバン時代と
変わらない



米軍基地内で売春行為をしたという理由で
公開処刑された2人の女性(ガズニ州)

Taliban crimes

US/NATO crimes



左はタリバンに鼻をそぎ落とされた少女。「占領軍が撤退したらどうなるか」というタイム誌の見出し。右中は白燐弾、右下はクラスター爆弾の被害者。占領軍がいることで、今なにが起きているのかは報道されない。



女性の解放が進行中という報道



洋装の60年代



安全のためにブルカを着用しなければならない現在



60～70年代、アフガン女性は今よりもっと自由だった。



1967年のアフガン少女。今日、このような服装で外出することは不可能だ。



「対テロ戦争」というが、実際は
一般市民に対する戦争である



10年の占領期間、米・NATO軍の空爆で8000人以上の市民が殺された。



占領軍空爆で150人の一般市民が犠牲に

元タリバン最高広報担当

サイド・ラフマトウラ・ハジヒジ



下は仏像破壊の現場、バーミヤンで

右上は髭を落としてイェール大学生になりきった現在

米軍を攻撃しないとついでにCIAとの取り引き

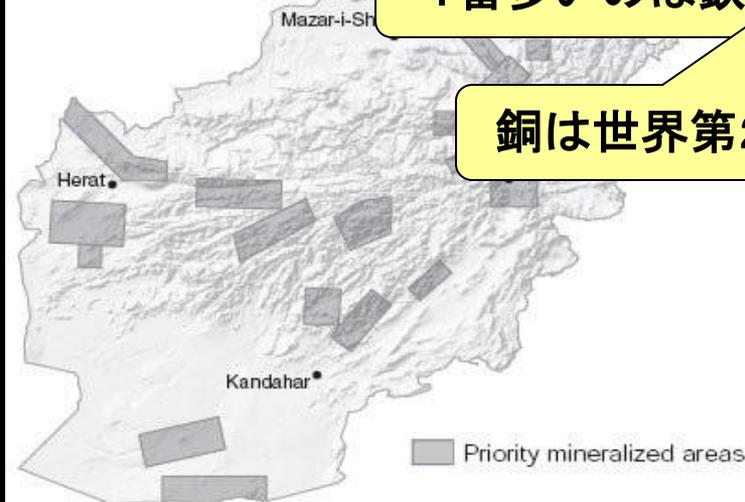


左からアハマド・ラティフ・ポパル、タリバン在イスラマバード大使のムラー・アブドゥル・サラーム・ザイーフ、副大使スハイル・シャヒーーン。



サヤフ派のウマルが殺害された後、ウマル以上に腐敗し、危険なジャグダラクがクンドゥーズ州知事に就任。隣はドイツ外相ギド・ヴェスターヴェレ。

Minerals and metals found are worth more than \$908 billion



Sources: U.S.G.S; Afghanistan Geologic Survey; Department of Defense

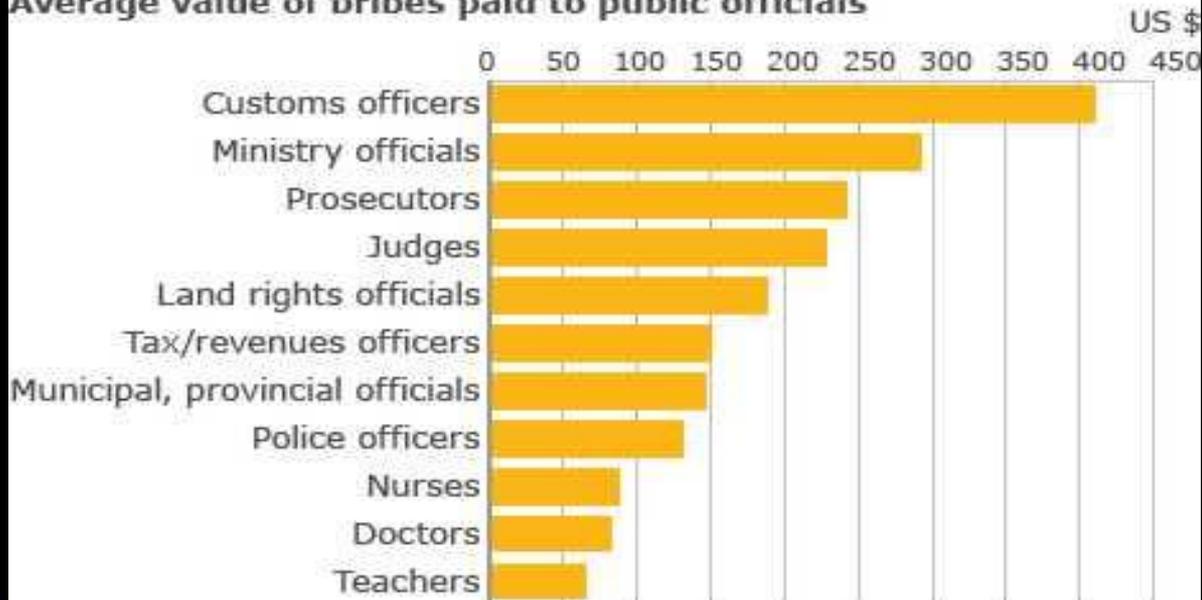
Potential value of known resources	Potential value
Iron	\$420.9 bil.
Copper	274.0
Niobium	81.2
Cobalt	50.8
Gold	25.0
Molybdenum	23.9
Rare earth elements	7.4
Asbestos	6.3
Silver	5.3
Potash	5.1
Aluminum	4.4
Graphite	0.7
Lapis lazuli	0.7
Fluorite	0.6
Phosphorus	0.6
Lead and zinc	0.5
Mercury	0.5
Strontium	0.4
Sulfur	0.2
Talc	0.2
Magnesite	0.2
Kaolin	0.1

THE NEW YORK TIMES

鉱山相によると、アフガンには3兆ドル相当の鉱物資源があるというが、世界第2位の腐敗政権のもと、その収益は政府役人と軍閥の私腹を肥やすだけになっている。

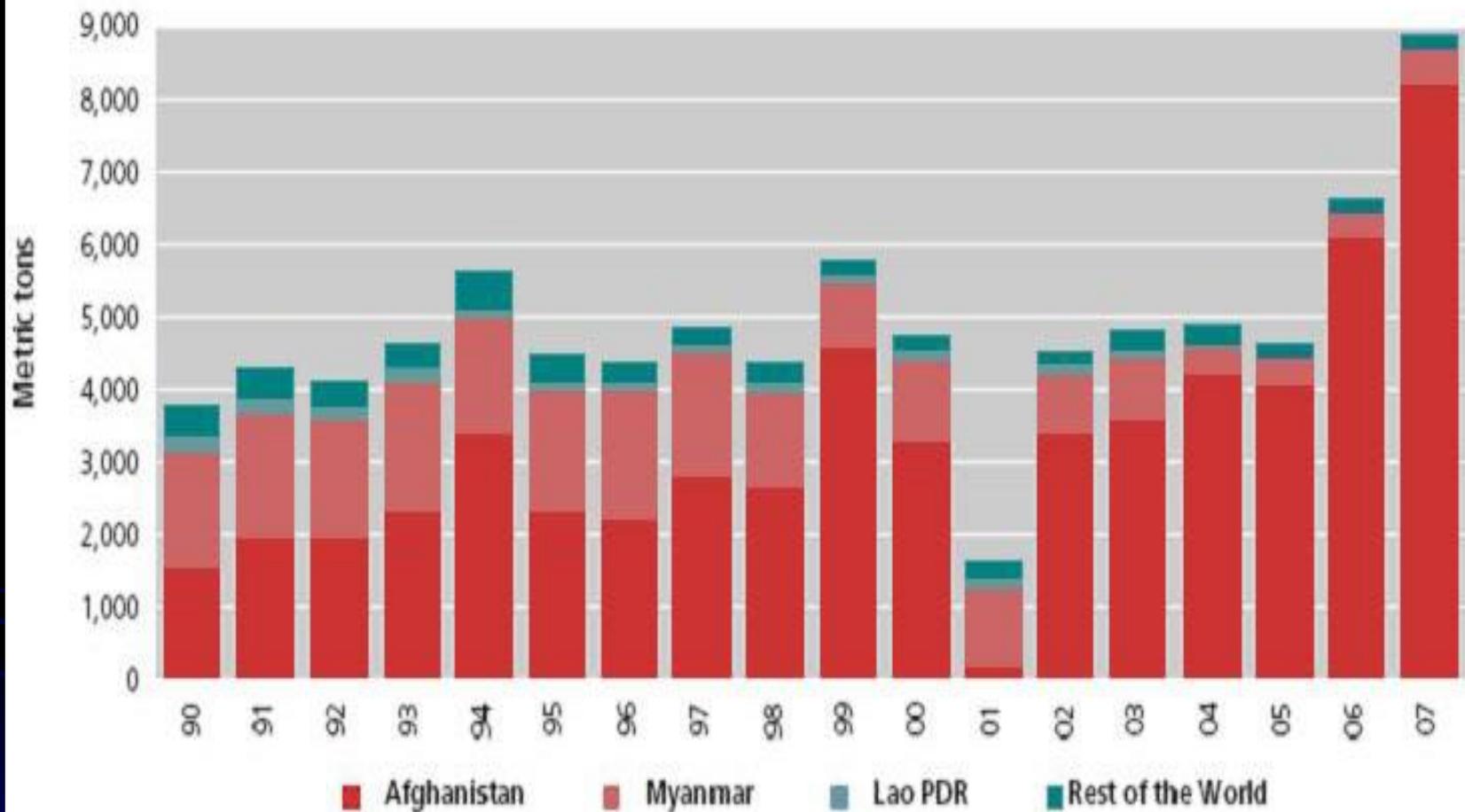
2009年、アフガン民衆は10億ドルの賄賂を払ったと推定される。2006年は4億6600万ドルだった。(アフガン健全度監視・IWAの報告)

Average value of bribes paid to public officials



Source: UN Office on Drugs and Crime

Global illicit opium production, by region: 1990 - 2007



アフガニスタンは2001年以降、世界最大のアヘン生産国になった。何万人もの米・NATO軍の目の前で生産高は4400%増加、世界の93%を占める。

最も残忍で危険な要素を組み込もうとする、 いわゆる「和平」会議



タリバン及びグルブディンとの大真面目な会談。現政権より腐敗し、
ならず者どもによるさらに汚れた集団が権力を掌握しようと、米国に
ってはどうでもいいことだ。



数百の軍閥を含む選挙候補者たち。赤ペンキは民衆による戦争犯罪と暴虐の告発だ。



92~96年、民衆に数え切れない苦痛
を与えてきた軍閥と犯罪者たち。



市民が街頭抗議行動を始めている



世界は「政府」というハコモノを
支援するのか？
それとも、生きている私たちに
援助してくれるのか？

www.hambastagi.org

女性たちも危険を顧みず立ちあがっている。